

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4 年 11 月 25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492700038		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホーム ほのぼの苑 廿日市東		
所在地	広島県廿日市市桜尾本町3番21号 (電話) 0829-34-3800		
自己評価作成日	令和4年8月19日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3492700038-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年11月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

現在、コロナ禍のため、ご家族様との面会や外出を控えて頂いています。当苑では、リモート面会・電話・日々の会話でご家族様の名前をお出しし、ご家族様と繋がって頂いております。また、ご近所への散歩で「桜、あじさい、紅葉」など四季を感じて頂いております。利用者様の信頼を得られるよう、日々の会話に力を入れ支援しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

身体拘束、人格の尊重を念頭に、職員は利用者一人ひとりに毎朝必ず言葉かけを行うことを心掛けている。次に市町との関係については、普段から担当者に相談し、アドバイスを貰いながら関係を継続している。災害対策においては職員間で有事に対してのシュミレーションを行い、改善しながらマニュアルを作成する等実践に繋げている。食事は季節に応じた内容や器にも気を配り、多岐にわたって楽しんで貰うよう工夫している。またコロナ禍で出掛ける事が困難な現在、2ユニットが協力し会議室を使い、月の行事や時にはボーリング大会、室内運動会を開催し、職員全員が協力して行っている。運営法人は職員のスキルアップにも協力し、更なるサービスの向上を目指し取り組んでいる。

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。</p>	<p>苑の理念と、スタッフの改善を毎朝の申し送り時に唱和し、実践出来るように努めている。スタッフ会議で話し合い、利用者への対応の改善についての心構えを申し送り時に唱和し改善しているものもある。</p>	<p>設立当初からの事業所の理念を、毎日確認し支援に取り組んでいる。職員はその人に添ったサービスを心掛け、理念を共有し実践に繋げるよう努力している。また朝の申し送り時に話し合い、更なるサービスの向上に繋げるよう努力している。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>町内会に加入しており、利用者様との散歩時や職員の出勤時には、挨拶を交わし、顔なじみの関係を作っている。</p>	<p>事業所は町内会に加入しており、回覧版等で地域の情報を確認している。地域行事には声を掛けてもらい、最近では近くの神社で開催した大名行列の見学に出掛け、住民の好意により場所提供を受け、地域との付き合いの幅が広がるよう取り組んでいる。職員は地域の一員として交流に努めている。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>年に数回施設見学会を開催しているが、現在コロナ禍のため開催していない。高齢者施設に関する質問や相談には電話などで対応している。</p>	/	/
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>市、町内会、民生委員、ご家族様に参加して頂き、現状報告を行っている。また毎回講師の先生を招き、栄養指導・防災・認知症予防等について研修して頂いている。研修の内容は、朝礼時やスタッフ会議にて伝達しサービス向上に繋げている。</p>	<p>運営推進会議は感染対策を行っている現在、書面会議の形式で行っている。多職種の関係者や家族に事前に意見をもらいながら、より良いサービスの向上に活かすよう取り組んでいる。議事録は会議に出席した家族や、関係者に送付し更なる意見交換に繋げている。</p>	<p>運営推進会議は定期的に行われているが、現状ではこの討議内容が議事録として全員の家族に届けていない。今後の改善課題や情報の共有のために、出席していない家族にも会議録の送付が望まれる。</p>
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>介護保険に関する情報を市からメールを頂いたり、地域包括支援センターと入居の件で情報交換するなど、連携を図っている。また、月一回、介護相談員に来苑頂き、利用者の声を行政に届けている。</p>	<p>日頃から協力関係を築く努力はある。市町が主催する研修（基礎研修や実践者研修）の案内はあるが、コロナ禍の現在は出席は出来ていない。事業所は家族からの意見や要望等、市町の担当者に相談しアイデアを貰いながら連携を取り、情報を共有し途切れない関係を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の研修会を定期的開催し、職員全員に身体拘束の危険性を理解して拘束をしないケアに努めている。</p>	<p>安全を確保し見守り重視で支援している。夜間はコールマットを必要時に活用している。身体拘束は勿論、不適切なケアも職員は普段から気を付け、共に確認しながら取り組んでいる。今後は赤外線眠りスキャンの購入を検討している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止マニュアルを作成し、職員間で共有している。また、定期的に虐待チェックシートを記入し日々のケアを見つめなおしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>マニュアルを用意し、スタッフ会議などで職員に周知徹底するように心掛けている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際には十分時間をとり、分かりやすく説明を行う事を心懸けている。ご家族様に理解・納得をして頂けるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時にご家族様から意向・要望を伺い、利用者様について報告や相談を行っている。頂いたご意見を反映出来るよう努めている。</p>	<p>家族が望む面会方法は、新型コロナウイルス感染症が蔓延している現在制限し、家族の要望が反映出来ないことも有る。利用者の様子は定期的に、手紙や電話等で連絡し支援している。職員は利用者や家族の要望について、出来るだけ運営に反映させるようしている。</p>	

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に1回定期的に行うスタッフ会議に必ず代表取締役の出席を仰ぎ、職員からの意見や提案に耳を傾ける機会を設けている。</p>	<p>職員からの意見は会議の場のみならず、個人面談や様々な場面でやっている。業務改善においても、新型コロナウイルス感染ピーク時にはマスクを二重にする等、それぞれの安全を確保しながら、必要に応じて話し合いを重ね、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人の勤務希望を配慮し、労働しやすい条件を組んでいる。代表者は賞与などに日頃の努力実績を繁栄させ職員の向上心を上昇させるべく整えている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員に必要な研修を受講できるよう配慮している。受講後スタッフ会議で全職員に伝達している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>施設見学の際には各事業所に案内を郵送し、他事業所からもお知らせが郵送されてきます。他事業所の方が見学に來られ情報交換することもある。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前又は入居時はご本人と面談を行い不安や要望等があった際には納得して頂くまで傾聴し安心して生活して頂ける関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価		自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	不安なく入居して頂けるように面談やご家族様と電話で話を伺う機会をこまめにとり、信頼関係を構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人の「ADL」や「思い」ご家族の要望を正確に把握し、総合的な支援を考えるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中で食事の片づけ、洗濯干し、たたみ等利用者が出来る事は積極的に声かけ、一緒に行い家庭的な雰囲気作りに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	日常生活をこまめにお伝えし、ご家族の思いや意見もお聴きしながら、同じ様な思いで支援する事を心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	これまでの人間関係やご近所付き合いを把握し、散歩コースには利用者様の馴染みの場所を選び懐かしく思い出されるように支援している。	出掛ける事が困難な現状で、関係継続の支援を大切にしている。例えばベランダから近くの公園を眺め、昔話を話す利用者や、職員が近隣の情報を伝える等、その人に合った馴染みの場所の話題を探し、途切れない支援に努めている。	

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>仲良くなられた利用者様同士でお互いに声を掛け合ったり協力し合える関係が見られ職員はそっと見守るような支援をしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>契約終了後も必要に応じて相談を受け少しでもお力になれるように努めている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々の会話や苑での生活から望んでおられる思いや意向をくみ取り、申し送りやカンファレンス等でその人らしさの把握に努めている。</p>	<p>思いや暮らし方が実現出来る様、職員は連携を取り情報を共有し支援に取り組んでいる。利用者の希望の把握が困難な場合、職員はケアプラン等を見直し話し合いを重ね、その人に合った支援が出来るよう支援体制を整えている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>入居前にご本人様やご家族様から生活歴や要望等をおききし、馴染の生活が継続出来るよう環境づくりをしている。入居前のサービス提供者より情報を得ている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>ご利用者様一人ひとりの身体、生活状況の変化を介護記録に残し職員間で話し合い現状の把握に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人様の日々の変化を見逃さず、ご本人・ご家族の意向、介護職員、看護師等の意見を情報交換し、本人に即した個別性のあるケアプランを作成している。</p>	<p>モニタリングは年2回本人、家族の意見を中心に、職員からは日々の暮らしぶりを参考に、例えば好き嫌い、出来る出来ない等検討し現状に即した計画を立てている。状態の変化がある場合は、必要な関係者が評価、見直しを行い介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別の経過記録を日々記入し、職員間で確認している。「ケアプラン実施表」に介護職員が気づきを記入する事で情報の共有化や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>常にご本人の思いに耳を傾け、状況に応じてサービスの活用に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事に参加させて頂くとともに、散歩等、地域の中で楽しみを感じている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に苑の協力医の説明を行うと同時に本人様の馴染みのかかりつけ医を設定されることも自由である旨を説明している。協力医の訪問診療他必要時、緊急時は常にかかりつけ医と連絡をとれる体制が出来ている。</p>	<p>かかりつけ医は近隣の病院の他、利用者それぞれのかかりつけ医が、定期的に事業所の別室にて診察している。歯科受診も口腔ケアを含め必要に応じて行っている。入院や他科受診も連携をとり、有事にはマニュアルに沿って対応し、適切に支援出来るよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>申し送りや日常業務の中で小さな変化があれば、すぐに看護師に相談し緊急度合いによっては、受診や往診依頼している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には医療機関にホームの生活・ケア等の情報提供を行い、安心して治療が行えるように整えている。また入院中病院を訪問したり医療連携室の担当者から電話にて連絡を行い本人のADL、体調面の情報を得ている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に重度化や終末期における対応に関する指針を説明するとともに、その時を迎えた場合ご家族・かかりつけ医・苑が十分に話し合いを持ち、施設としての対応を十分納得して頂くまで行っている。ご利用者様の状態を常に報告し再度意思確認を行っている。</p>	<p>家族には利用開始時に説明を行い、重度化した場合は改めて家族と話し合い同意書を交わし方針を共有している。現在、重度化した利用者に対して、毎日の情報や状態を共有し、職員は家族の気持ちに寄り添いながら、安心して支援が出来るよう取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変・事故発生時に対応出来るよう、マニュアルがあり、慌てずに行動出来るように努めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>月1回の日中・夜間消防訓練は利用者様と共に行っている。また、11月には防災月間として、水消火器による消火訓練を行っている。災害対策については3日分の食糧の備蓄・簡易トイレなどを備えている。また、ダウンジャケットも用意している。</p>	<p>月に1度の割合で利用者と共に夜間想定も含め、避難訓練を行っている。事業所はハザードマップ等で位置や危険性を確認し、特に水害対策はシュミレーションに沿って対策している。備蓄も食料品をはじめ用品も確保している。</p>	<p>訓練は利用者を含め、定期的に行い、マニュアルや緊急連絡体制、備蓄等は整っているが、町内会等地域との連携が不足している。今後の課題として地域との更なる協力体制を期待したい。</p>

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様に合った声かけを心掛けている。毎朝、申し送りで言動を見つめ直すべく、スタッフ改善の言葉を唱和している。	職員は日頃より利用者一人ひとりの、その時の気持ちを考え、その都度対応出来るよう接している。また生活歴からヒントを得て、改善しながら支援に取り組んでいる。特に言葉かけは大切にし、その人の人格を大切に対応している。記録の書き方にも気配りをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員と1対1になる入浴時や散歩時にはくつろいだ気持ちで自然な思いを語って頂ける事が多く、出来るだけその思いを具体化出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的に利用者様の生活リズムに合わせて、起床、食事などの時間も個別対応している。外出、散歩等、出来る限り要望に応えられるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時にはご自分の好みの衣服を選んで頂いたり、2ヶ月に1回訪問理美容でカットされる時、どのような髪型を希望されるかをお聞きして希望の髪型にされ、いつも綺麗にいて頂くように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	3食すべて職員の手作りの食事は見た目も食欲をそそる様に色合い良く、また温かい物は温かく冷たい物は冷たく召し上がって頂いている。利用者様には食後のお盆ふき、テーブル拭き等を手伝って頂いている。	昼食は調理専門の職員が手作りし、朝、夕は職員が交代で行っている。誕生日には該当する利用者一人ひとりにケーキを作り、にぎり寿司やお好み焼き等、ケータリングをする事もある。更には季節に応じた行事食等、楽しく食事が出来るよう支援している。	

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日、食事、水分摂取量を記録し個々の咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態に対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを実施し口腔内の清潔保持に努めている。また必要な方には訪問歯科医による治療、また入居者様全員定期的に口腔ケアも行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表に記録することで個々のリズムを把握し、トイレでの排泄を促している。また、利用者様の尿量に応じた適切なパットを模索しご家族に提案し使用している。</p>	<p>トイレはフロアに3カ所あり、車イス対応は2カ所ある。夜間はポータブルトイレの使用者はいるが、センサーマットを活用した支援に取り組んでいる。排便も自然の通じが出来る様、食事や運動に気を配り薬に頼らない支援を実践している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事の中で繊維質や乳酸菌を多く取り入れるように心掛けている。また、適度な運動を働きかけながら自力排便できるように支援している。必要に応じて医師に相談して薬でコントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご希望の時間帯に入浴できる配分はできないが、日を変える工夫は行っている。入浴時に気分が乗らず、お断りされる利用者様には世間話からはじまりお好きな話で上機嫌になって頂くように工夫している</p>	<p>入浴は週2回午後より、利用者一人ひとりの希望に寄り添い、快適な入浴を行っている。困難な場合には職員が声掛けや時間帯のタイミングを図り、無理のない入浴をしている。またシャワーチェア利用者には、足浴を行い温度管理には気配りしながら工夫した支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>ご本人の生活習慣を継続した睡眠時間に合わせている。夜間眠れない時は無理強いせず、ペースにあわせた支援を心掛けている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>利用者様が内服されている薬は個々のファイルに保管され、副作用、用法などを職員が確認できるようにして、副作用の早期発見に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>1日の楽しみ、役割を持ち、張りのある生活を送って頂くことを心掛けている。散歩や3階の花壇等で気分転換をはかっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日にはADL、体調に応じた距離で散歩に出かけ草花を通じて季節を感じて頂き気分転換も心掛けている。お墓参りはご家族様の協力を得ている。</p>	<p>出掛ける事が困難な中で、職員は利用者が感じる外出を考え、天気の良い日はベランダから外の景色を眺め、またプランターに水をやりながら外気浴を行っている。時には事業所傍の裏道を散歩し、職員は出来る限り日常的に出掛けられるよう工夫している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>基本的に金銭管理は苑で行っている。必要時には使えるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	自己評価		外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>遠方のご家族様からプレゼントや母の日の贈り物が届いた時にお話ができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングには掛け時計があり、ご自分で時間を確認して頂き、一日の流れを把握出来るようにしている。ホールの廊下には絵画を飾り、落ち着いた雰囲気を出している。また、スタッフやご家族様から頂いた季節の花を飾っている。</p>	<p>多くの時間を過ごすリビングは、室内のレイアウトはキッチンから利用者が見渡せる。壁にはみんなで作った色紙の作品を飾っている。フロアは自由に行き来でき、ソファで話したり、洗濯物を干したり畳んだりして、利用者が思い思いに暮らせるよう支援している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>静かに過ごされている時は無理強いせず、ご本人の意向に添った支援に努めている。気の合う利用者様同士が楽しく会話出来る座席にも配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自室のチェストの上にはご家族様の写真やアルバム、ご家族様からのプレゼントを飾っている。</p>	<p>居室の入口は大き目の名札が掛けてある。室内には備え付けのチェストやベットが、各々好きな配置で使用し、利用者は各々思い出の写真や手作り品を飾っている。部屋の掃除は2名の清掃担当者が交代で行い、新型コロナウイルス感染が気になる現在は職員が毎日消毒している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>リビングや廊下はお一人おひとりの身体状況により、ご自分の力で動き、また危険回避できるよう、物の配置に配慮している。入浴時にはシャワーキャリーを使用し安全な入浴が出来るように工夫している。</p>		

V アウトカム項目(1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	苑の理念と、スタッフの改善を毎朝の申し送り時に唱和し、実践出来るように努めている。スタッフ会議で話し合い、利用者への対応の改善についての心構えを申し送り時に唱和し改善しているものもある。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入しており、利用者様との散歩時や職員の出勤時には、挨拶を交わし、顔なじみの関係を作っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	年に数回施設見学会を開催しているが、現在コロナ禍のため開催していない。高齢者施設に関する質問や相談には電話などで対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	市、町内会、民生委員、ご家族様に参加して頂き、現状報告を行っている。また毎回講師の先生を招き、栄養指導・防災・認知症予防等について研修して頂いている。研修の内容は、朝礼時やスタッフ会議にて伝達しサービス向上に繋げている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険に関する情報を市からメールを頂いたり、地域包括支援センターと入居の件で情報交換するなど、連携を図っている。また、月一回、介護相談員に来苑頂き、利用者の声を行政に届けている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の研修会を定期的を開催し、職員全員に身体拘束の危険性を理解して拘束をしないケアに努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止マニュアルを作成し、職員間で共有している。また、定期的に虐待チェックシートを記入し日々のケアを見つめなおしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	マニュアルを用意し、スタッフ会議などで職員に周知徹底するように心掛けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際には十分時間をとり、分かりやすく説明を行う事を心懸けている。ご家族様に理解・納得をして頂けるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時にご家族様から意向・要望を伺い、利用者様について報告や相談を行っている。頂いたご意見を反映出来るよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月に1回定期的に行うスタッフ会議に必ず代表取締役の出席を仰ぎ、職員からの意見や提案に耳を傾ける機会を設けている。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	個人の勤務希望を配慮し、労働しやすい条件を組んでいる。代表者は賞与などに日頃の努力実績を繁栄させ職員の向上心を上昇させるべく整えている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	職員に必要な研修を受講できるよう配慮している。受講後スタッフ会議で全職員に伝達している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	施設見学の際には各事業所に案内を郵送し、他事業所からもお知らせが郵送されてきます。他事業所の方が見学に來られ情報交換することもある。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入居前又は入居時はご本人と面談を行い不安や要望等があった際には納得して頂くまで傾聴し安心して生活して頂ける関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>不安なく入居して頂けるように面談やご家族様と電話で話を伺う機会をこまめにとり、信頼関係を構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の「ADL」や「思い」ご家族の要望を正確に把握し、総合的な支援を考えるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の生活の中で食事の片づけ、洗濯干し、たたみ等利用者が出来る事は積極的に声かけ、一緒に行い家庭的な雰囲気作りに努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日常生活をこまめにお伝えし、ご家族の思いや意見もお聴きしながら、同じ様な思いで支援する事を心掛けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>これまでの人間関係やご近所付き合いを把握し、散歩コースには利用者様の馴染みの場所を選び懐かしく思い出されるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>仲良くなられた利用者様同士でお互いに声を掛け合ったり協力し合える関係が見られ職員はそっと見守るような支援をしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>契約終了後も必要に応じて相談を受け少しでもお力になれるように努めている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々の会話や苑での生活から望んでおられる思いや意向をくみ取り、申し送りやカンファレンス等でその人らしさの把握に努めている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>入居前にご本人様やご家族様から生活歴や要望等をおききし、馴染の生活が継続出来るよう環境づくりをしている。入居前のサービス提供者より情報を得ている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>ご利用者様一人一人の身体、生活状況の変化を介護記録に残し職員間で話し合い現状の把握に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人様の日々の変化を見逃さず、ご本人・ご家族の意向、介護職員、看護師等の意見を情報交換し、本人に即した個別性のあるケアプランを作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別の経過記録を日々記入し、職員間で確認している。「ケアプラン実施表」に介護職員が気づきを記入する事で情報の共有化や介護計画の見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	常にご本人の思いに耳を傾け、状況に応じてサービスの活用に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域行事に参加させて頂くとともに、散歩等、地域の中で楽しみを感じている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居時に苑の協力医の説明を行うと同時に本人様の馴染みのかかりつけ医を設定されることも自由である旨を説明している。協力医の訪問診療他必要時、緊急時は常にかかりつけ医と連絡とれる体制が出来ている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	申し送りや日常業務の中で小さな変化があれば、すぐに看護師に相談し緊急度合いによっては、受診や往診依頼している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医療機関にホームの生活・ケア等の情報提供を行い、安心して治療が行えるように整えている。また入院中病院を訪問したり医療連携室の担当者から電話にて連絡を行い本人のADL、体調面の情報を得ている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化や終末期における対応に関する指針を説明するとともに、その時を迎えた場合ご家族・かかりつけ医・苑が十分に話し合いを持ち、施設としての対応を十分納得して頂くまで行っている。ご利用者の状態を常に報告し再度意思確認を行う。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変・事故発生時に対応出来るよう、マニュアルがあり、慌てずに行動出来るように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	月1回の日中・夜間消防訓練は利用者様と共に行っている。また、11月には防災月間として、水消火器による消火訓練を行っている。災害対策については3日分の食糧の備蓄・簡易トイレなどを備えている。また、ダウンジャケットも用意している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様に合った声かけを心掛けている。毎朝、申し送りで言動を見つめ直すべく、スタッフ改善の言葉を唱和している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員と1対1になる入浴時や散歩時にはくつろいだ気持ちで自然な思いを語って頂ける事が多く、出来るだけその思いを具体化出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的に利用者様の生活リズムに合わせて、起床、食事などの時間も個別対応している。外出、散歩等、出来る限り要望に応えられるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時にはご自分の好みの衣服を選んで頂いたり、2ヶ月に1回訪問理美容でカットされる時、どのような髪型を希望されるかをお聞きして希望の髪型にされ、いつも綺麗にいて頂くように支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	3食すべて職員の手作りの食事は見た目も食欲をそそる様に色合い良く、また温かい物は温かく冷たい物は冷たく召し上がって頂いている。利用者様には食後のお盆ふき、テーブル拭き等を手伝って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	毎日、食事、水分摂取量を記録し個々の咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを実施し口腔内の清潔保持に努めている。また必要な方には訪問歯科医による治療、また入居者様全員定期的に口腔ケアも行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表に記録することで個々のリズムを把握し、トイレでの排泄を促している。また、利用者様の尿量に応じた適切なパットを模索しご家族に提案し使用している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事の中で繊維質や乳酸菌を多く取り入れるように心掛けている。また、適度な運動を働きかけながら自力排便できるように支援している。必要に応じて医師に相談して薬でコントロールを行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。	ご希望の時間帯に入浴できる配分はできないが、日を変える工夫は行っている。入浴時に気分が乗らず、お断りされる利用者様には世間話からはじまり好きな話で上機嫌になって頂くように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご本人の生活習慣を継続した睡眠時間に合わせている。夜間眠れない時は無理強いせず、ペースにあわせた支援を心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	利用者様が内服されている薬は個々のファイルに保管され、副作用、用法などを職員が確認できるようにして、副作用の早期発見に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	1日の楽しみ、役割を持ち、張りのある生活を送って頂くことを心掛けている。散歩や3階の花壇等で気分転換をはかっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日にはADL、体調に応じた距離で散歩に出かけ草花を通じて季節を感じて頂き気分転換も心掛けている。お墓参りはご家族様の協力を得ている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に金銭管理は苑で行っている。必要時には使えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	遠方のご家族様からプレゼントや母の日の贈り物が届いた時にお話出来るよう支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングには掛け時計があり、ご自分で時間を確認して頂き、一日の流れを把握出来るようにしている。ホールの廊下には絵画を飾り、落ち着いた雰囲気を出している。また、スタッフやご家族様から頂いた季節の花を飾っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	静かに過ごされている時は無理強いせず、ご本人の意向に添った支援に努めている。気の合う利用者様同士が楽しく会話出来る座席にも配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自室のチェストの上にはご家族様の写真やアルバム、ご家族様からのプレゼントを飾っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	リビングや廊下はお一人お一人の身体状況により、ご自分の力で動き、また危険回避できるよう、物の配置に配慮している。入浴時にはシャワーキャリーを使用し安全な入浴出来るように工夫している。		

V アウトカム項目(2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほのぼの苑廿日市東

作成日 令和5年1月6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	利用者様の運動不足による筋力低下。	筋力維持。	廊下歩行・スクワット・体操等レクリエーションに運動を取り入れ残存機能を保つ。	6か月
2	25	各階の1名の男性が居室で横になられる時間が多く、コミュニケーションが取れていない。	お食事以外でもリビングで過ごす時間が増える。	天候の良い日はご本人の体調に合わせた散歩や外気浴を行う。利用者様間の会話ができるようスタッフが間に入る。	1年
3	4	現在中止している運営推進会議を再開した場合、会議に参加して頂けるご家族様が少ない。	数名ずつ交代して参加して頂く。	運営推進会議の内容を来苑時に案内する。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。